

日中対照言語学会会報 (No.39)

2017年4月10日(月)発行 会報担当: 続三義 加藤晴子

目次

1. 第5回常務理事会拡大会議(2017年3月18日)議事録
2. 日中対照言語学会第37回大会(2017年度春季大会)のご案内
3. 月例会(2017年1月~2017年3月)

※ 事務局より

1. 第5回常務理事会拡大会議議事録

日時: 2017年3月18日(土) 15:30~17:00

場所: 大東文化会館 K401

出席者: 続三義、王学群、高橋弥守彦、竹島毅、安本真弓、平山邦彦、橋本幸枝、白石裕一、石井宏明(敬称略)

[審議事項]

① 春季大会プログラム

春季大会は大東文化大学にて5月28日(日)に開催する。発表者は8名、講演者は1名であり、例年通り5つのセッションに別かれて行われることになること、講演者は東洋大学文学部の齋藤里美先生に打診中ということなどが統理事長から報告された。

当日の総合司会と研究発表の司会は、常務理事または理事の方から5名に依頼することが了承された。いつも総合司会役を務めてきた竹島常務理事が開催校の連絡事項に専念していただくことになった。

竹島常務理事より大会当日の準備について報告された。

大会開催校代表挨拶は、大東文化大学の役職のある方をお願いする。学長、副学長、学部長、研究科長、学科長に依頼することが確認された。

② 総会

春季大会当日、総会を開催する。

③ 役職推薦

時衛国常務理事より勝川裕子先生を理事に推薦するという連絡があったことが統理事長より報告された。

④ その他

月例会について、5月と12月は全国大会があるため開催せず、4、6、7、9月は東洋大学で、

10、11、2、3月は大東文化大学で開催し、そのうち、9月、1月、3月は発表者がいる場合のみ開催することが確認された。

【報告事項】

① 日本学術振興協力機構申請準備

1月から準備を始め、会員名簿と役員名簿を作成、会員名簿に関して、個人情報について問い合わせた。100名ほどから回答があったことが竹島常務理事より報告された。北京支部の会員や顧問になっている諸先生も会員であるに違いないため、会員数に入れることが了承された。

② 学会誌第19号『日中言語対照研究論集』編集の進捗状況

査読が終了し、現在編集中である。最終的には、論文は12本、講演寄稿が1本、計13本の論文が掲載されることが平山常務理事より報告された。

学会誌の18号に関しては、149冊が会員などに送付されているが、会費の送金を確認されていないため、北京支部には学会誌を送付していないことが竹島常務理事より報告され、北京支部に会費送金について問い合わせることが確認された。

③ 会費

白石会計係より、2016年度の会費収入について報告された。2017年度にしては、出来るだけ全国大会開催時に徴収し、当日出席されなかった会員には、春季大会終了後に、会費の納付書を郵送すること、二重支払いのチェック、今後は会費納金の手数料は会員の自己負担になることが確認された。

④ その他

会報の郵送を止めるか否かについては次回再検討することとなった。

2. 日中対照言語学会第37回大会（2017年度春季大会）のご案内

記

日 時： 2017年5月28日（日）午前9時20分より午後5時00分（予定時間）

会 場： 大東文化会館1階ホール

交 通： 東武練馬駅（池袋から東武東上線、各駅停車で7番目駅下車、徒歩4分）

参加費： 1,000円（会員、非会員共通）

プ ロ グ ラ ム

受付（9:00-）総合司会 豊嶋 裕子（東海大学）

大会開催校挨拶 大島 吉郎（大東文化大学外国語学部長）9:20-9:30

開会の辞 于 康（関西学院大学）9:30-9:35

研究発表1. 「習得」に関する動詞のアスペクトについての日中対照

——アスペクト的意味の完成性と継続性を中心に——

蘇 丹 (広島大学大学院) 9:35-10:10

研究発表 2. 日本語と中国語の「ほめの談話」における後続連鎖-会話構造の観点から-

王 欣 (九州大学大学院) 10:10-11:45

以上司会 平山 邦彦 (拓殖大学)

休憩 (10 分間 10:45-10:55)

研究発表 3. 「の」と“的”の歴史的変化における対照研究

杜 曉磊 (広島大学大学院) 10:55-11:30

研究発表 4. 戦争と謝罪に関する日中対照研究

竹中 佐英子 (東洋大学) 11:30-12:05

以上司会 安本 真弓 (高千穂大学)

昼休み (60 分間 12:05-13:05 駅の周辺に食堂街あり)

講演 近未来社会における外国語学習の意味——異文化理解から多文化創造へ——

斎藤 里美 (東洋大学) 13:05-14:05

以上司会 続 三義 (東洋大学)

休憩 (15 分間 14:05-14:20)

研究発表 5. ウェブニュース見出しの中日翻訳と日中翻訳に関する対照研究

李 正政 (広島大学大学院) 14:20-14:55

研究発表 6. 日中翻訳——中国語誤訳の分析の分析——「て形」と連動

続 三義 (東洋大学) 14:55-15:30

以上司会 白銀 志栄 (神田外語大学)

休憩 (15 分間 15:30-15:40)

研究発表 7. 「なにも」の意味拡張について

賈 黎黎 (北京語言大学) 15:40-16:15

研究発表 8. “把”構文における可能表現について

小路口 ゆみ (大東文化大学大学院) 16:15-16:50

以上司会 王 学群 (東洋大学)

閉会の辞 高橋 弥守彦 (大東文化大学) 16:50-17:00

会員総会 17:00-18:00

※当日入会申し込み、学会費の納入も受け付けます。(年会費: 社会人 4,000 円、院生 2,000 円)

3. 月例会 (2017 年 1 月～2017 年 3 月)

月例会の発表要旨は学会の HP をご参照ください。

2017 年 1 月 21 日 (土) 17:00～19:00

場 所: 大東文化会館 K-403

発表者： 高橋 弥守彦（大東文化大学）

テーマ： 位置移動の動詞“下”と客体とで作る構文について

2017年2月18日（土）17：00～19：00

場 所： 大東文化会館 K-403

発表者： 王 学群（東洋大学）

テーマ： “(S)V了O”文が成立する条件について

2017年3月18日（土）17：00～19：00

場 所： 大東文化会館 K-401

発表者： 王 燕（北京語言大学）

テーマ： 「の」格名詞句が述語である名詞述語文について

事務局より

- 1) 学会の入会は、日中対照言語学会ホームページ上で随時受け付けています。ぜひ積極的に新入会員のご推薦をお願いします。ただし、申し込みができない場合は王学群事務局長（ohgakubun@toyo.jp）、または竹島毅常務理事（sisi@kkd.biglobe.ne.jp）までご連絡をください。年間会費は社会人4,000円、院生2,000円となっています。
- 2) 年間会費の納入について
2017年度の大会開催時に年間会費の納入を受け付けております。また、都合により出席されない会員に対しては次号の会報から請求書を送付させていただきますので、ご納入のほどよろしくお願いいたします。
- 3) 毎月の例会の開催は、郵送ではなく、メールにてご連絡させて頂いております。不明の方がいらっしゃいますので、ぜひお知らせいただきたくお願い申し上げます。また、メール変更につきましても、同様にお願い申し上げます。
- 4) 月例会発表者募集について
月例会の発表について、発表希望者は毎月の月末までに、次月に発表したいテーマと要旨（500字前後）を王学群（ohgakubun@toyo.jp）までお申し込みください。

